

## ■都幾川・川のまるごと再生プロジェクト(ときがわ町) -住民有志主催による「第2回現地見学会(下流域)」の報告-

- ・ 期日：平成24年8月5日 13:00~16:00
- ・ 場所：ときがわ町内、嵐山町境から川北橋までの都幾川沿い遊歩道候補地と周辺
- ・ 参加人数：9名（一般3名、ときがわ町建設課2名、主催スタッフ4名）

### ■見学会（下流域）報告：

今回も、嵐山町班溪寺前に集合しました。始めに第1回見学会で出た提案等を報告し、今回の課題を確認しました。今回はそれらの課題を中心に現地で協議しながら歩きました。

・ 課題1) 班溪寺橋から和田橋までの左岸遊歩道ルートの開拓では、できるだけ既存の赤道をつなげた川沿いのルートを歩いてみました。随所で川に近づけ、景観も素晴らしく、参加者に好評でした。途中の百穴淵付近に飛び石等の希望もありましたが、賛否両論ありでした。



〈写真1〉左岸遊歩道コースを検討する参加者〉



〈写真2〉百穴淵付近の様子〉

- ・課題2) 和田橋下流左岸の状況確認。一部護岸予定地があり、遊歩道との兼ね合いや景観がどうなるかチェックが必要という意見がありました。
- ・課題3) 玉川橋周辺宮ヶ谷戸堰から花菖蒲園までのルートでは、既存の道と新ルート開拓で賛否両論あり。今後の課題としました。
- ・課題4) 花菖蒲園から破岩橋までのルートでは、破岩堰の上を渡る案を県土が却下したとの情報があり、岩淵神社境内通過案が有力になってきましたが、一部民地が含まれるため調整が必要です。
- ・課題5) JR八高線都幾川橋梁下通過ルートも、一部民地通過が可能であれば、下側ルート、無理なら上側の赤道ルートとの希望が多数でした。



<写真3>破岩堰の上を渡れば良いのだが



<写真4>JR八高線都幾川橋梁上流左岸の遊歩道予定地

猛暑の中、途中ヤブ漕ぎもありましたが、都幾川の清流に励まされ、参加者は、町の自然や歴史、文化にふれられるような遊歩道づくりを目指そうと真剣に取り組み、貴重な意見交換を行う事ができました。